

2014 年度 F D 講演会「大学教育における主体的な学び」

講師：金子 元久（カネコ モトヒサ）先生

日時：10月14日（火）18:00～19:30

場所：大学3号館 311 教室

今年度2回目は、筑波大学 大学研究センター教授、東京大学名誉教授、中央教育審議会 専門委員の金子 元久（カネコ モトヒサ）先生をお招きし、「大学教育における主体的な学び」をテーマにご講演いただきました。

なぜ大学教育における「主体的な学び」の確立が課題となっているのか、大学生の学習について何が問題になっているのか、大学教育改革の必要性と展望等についてお話をいただきました。

当日は、教職員 41 名の参加があり、大変有意義な講演内容で、講演終了後も活発な質疑応答が行われました。

また、講演後のアンケートには「初年次のマインドセットと双方向・参加型の授業はまずその”体験の場”作りが大切である、学生がその重要性に自ら気づき主体的に取り組む動機づけが必要である」等のご意見があり、参加者からも大変好評でした。



古川社会イノベーション学部長からの挨拶



講師の金子 元久先生



講演会の模様



講演会参加者との質疑応答

金子 元久先生 プロフィール

筑波大学 大学研究センター教授。東京大学名誉教授、中央教育審議会専門委員、日本学術会議会員、日本高等教育学会長。高等教育研究の第一人者であり、多数の論文、全国規模の講演活動等、幅広く活躍されている。